

五重奏の軒下

- 五感で楽しむ滞在型商業空間 -

Concept

縁側のような軒下空間は、屋内の様子を感じながら、外の景色を眺めることのできる「ここち良さ」を持った空間です。この空間でのんびりと過ごすことは、加速する現代社会において贅沢な時間なのかもしれません。屋内の店舗から滲み出る、音、香り、また入店することで得られる、手触り、味など、オンライン上にはない「身体性」を感じられる提案です。



- Distinction : リアル店舗でこそ得られる3つの特性 -

身体性

実際に手に取ることでしか得られない情報はたくさんあり、五感すべてで感じられる商業施設を考える。



地域性

その地域を感じられることは、いつでもどこでもアクセスができるオンライン上にはない空間性を持つ。



偶発性

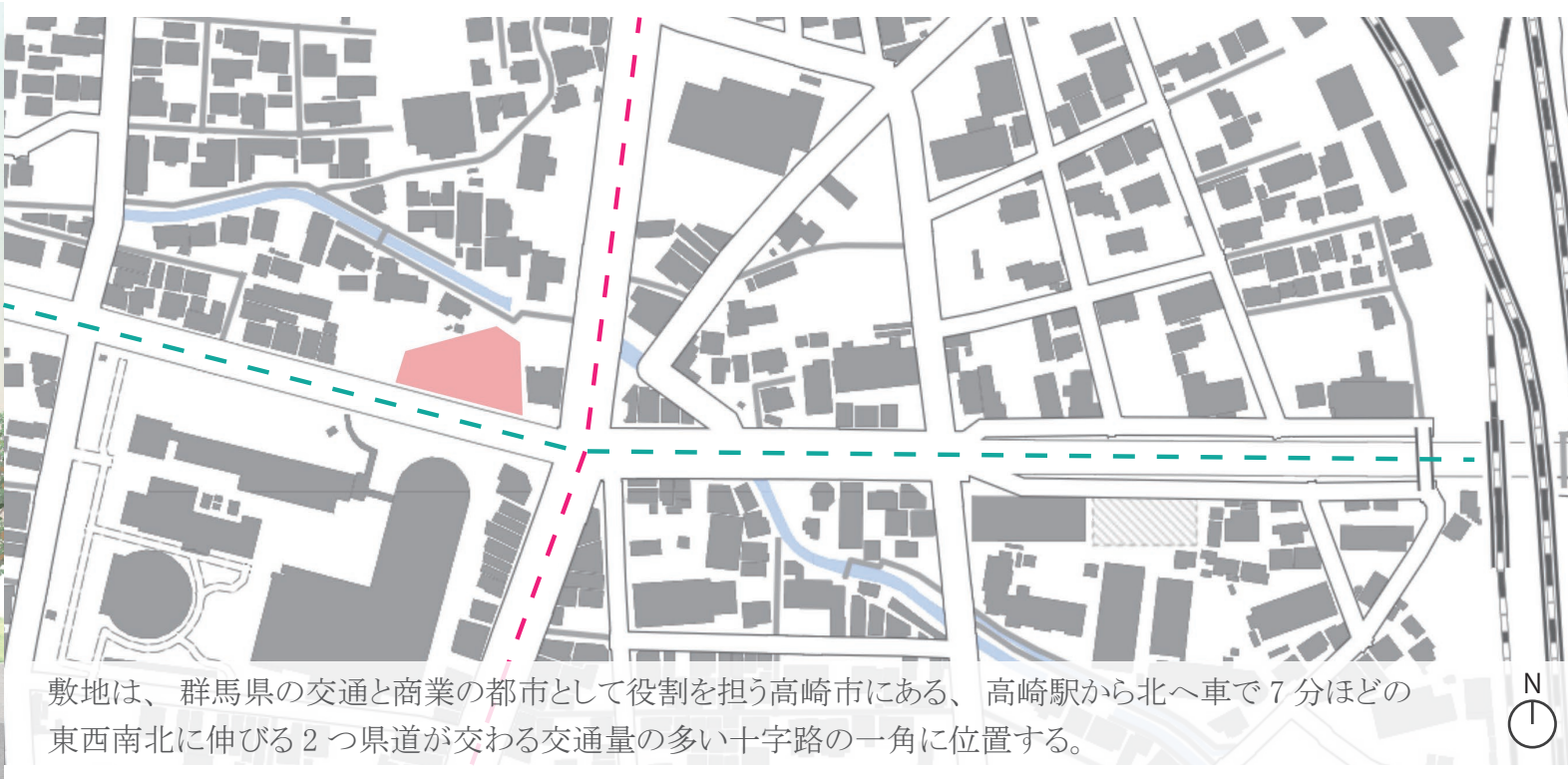
突如はじまるストリートライブなど、偶然の出会いが1日を特別な日に変えるきっかけをうむ。



Context

小さな集落のような滞在型店舗

群馬の持つ特色として「独立性」が挙げられる。これは歴史的観点から群馬は、「中央集権的」でなく独立性を持った小さな藩による「地方分権的」に形成されていたことから伺える。独立独歩の文化を大切にし、脈々と現代に引継がれている群馬ならではの「個」を貴重にした小さな集落のような店舗空間を提案する。



敷地は、群馬県の交通と商業の都市として役割を担う高崎市にある、高崎駅から北へ車で7分ほどの東西南北に伸びる2つ県道が交わる交通量の多い十字路の一角に位置する。

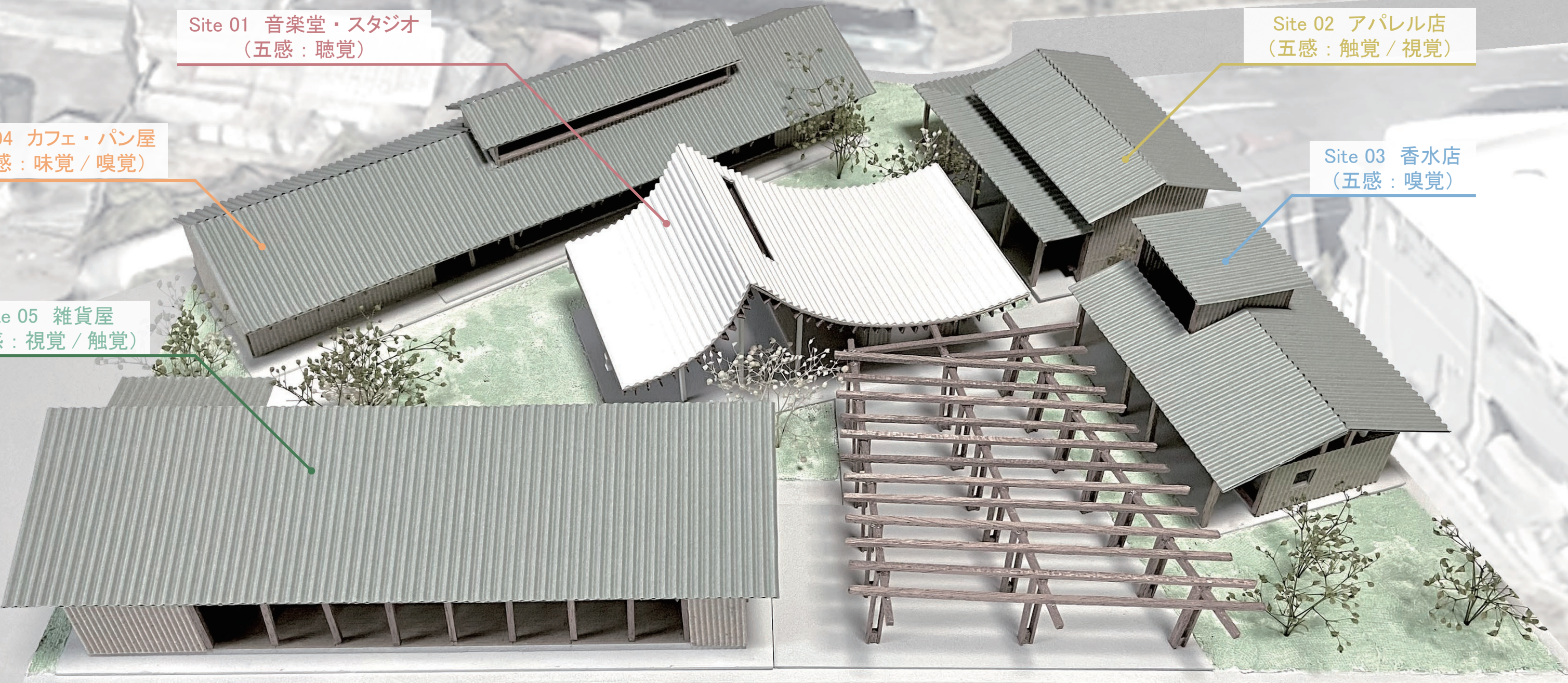
Site 01 音楽堂・スタジオ
(五感：聴覚)

Site 02 アパレル店
(五感：触覚 / 視覚)

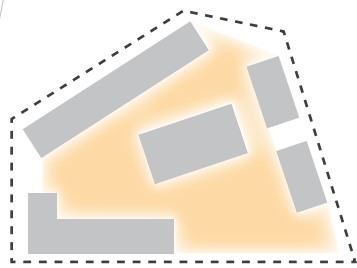
Site 04 カフェ・パン屋
(五感：味覚 / 嗅覚)

Site 03 香水店
(五感：嗅覚)

Site 05 雑貨屋
(五感：視覚 / 触覚)



Planning Diagram



五感を刺激するような店舗群を分散配置することで、各店舗から店先へ特色が滲み出し、敷地全体に賑わいをつくりだす。

入口へのアプローチでは、厨房の窓から焼き立てパンの香りがする

ステージから広場へ体的につながる

ベンチでひと息入れていると、前方にある音楽スタジオから楽器の練習が聴こえてくる

駐車場
(14台)

駐輪場
(12台)

近くに中学校や高校があり、放課後には自転車通学の学生がよく通る

音楽堂へのメインアプローチ

配置図兼 1 階平面図 S=1 : 150



Site 01

音楽堂・スタジオ

（五感：聴覚）

高崎は「音楽のある街」として音楽活動を推進していることから、ストリートライブのステージを設ける。ステージから客席に向かって天井が広がる屋根は、音が響くように設計している。



Site 03

アパレル店

（五感：触覚 / 視覚）

Ｌ字に開いたアパレル店では、窓際の商品となる洋服がその季節やトレンドを表しつつ店の外観を彩る。加えて、日光による服の色落ちを防ぐために深い庇をＬ字に沿ってかける。



Site 02

香水店

（五感：嗅覚）

店内の香水の匂いが混ざり、流出した匂いによって店先で不快な気持ちにさせないために、香水店部分の天井を高めに設定することで、上部へ空気が抜けていく空気の流れをつくる。

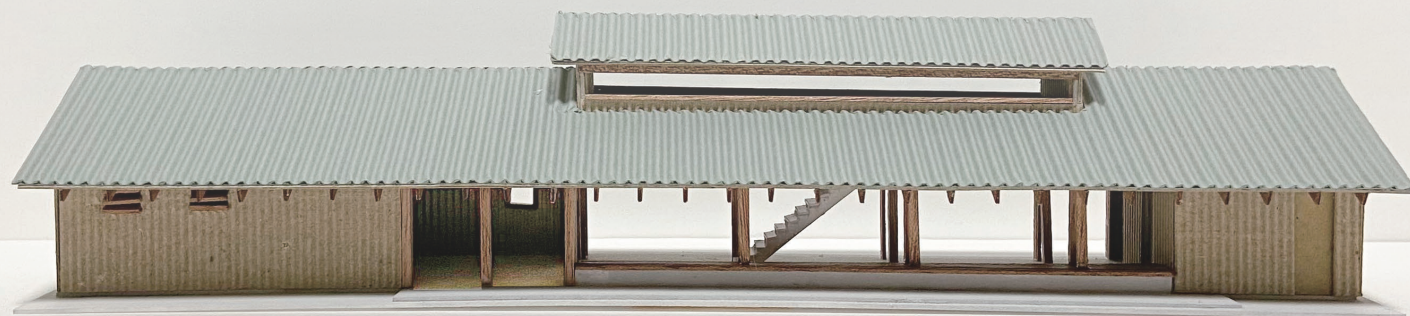


Site 04

カフェ・パン屋

(五感：味覚 / 嗅覚)

高崎は小麦の産地であることから、焼き立てのパンやコーヒーを購入して、外と店内をつなぐ長い縁側に並んで食事を楽しむことができるような形態に設計している。中央の階段を上ると敷地全体を見渡すことのできる2階テラス席も設計。



Site 05

雑貨屋

(五感：視覚 / 触覚)

前面道路に沿って東西に伸びる細長い雑貨屋。ダイナミックな木架構と広縁のよ
うな床を一直線に設けた売り場スペースは、南側の歩道や北側の広場に対し
て開かれている。また、店を挟んで奥に広がる施設全体の様子が垣間見える。

